

Ⅲ アカウンタビリティ部門（パネルディスカッション）（2日目）

時間	アカウンタビリティ部門		
9:20～10:10	個別発表①		
	一般国道276号 岩内共和道路ワークショップについて	北海道開発局 小樽開発建設部 道路計画課	大江 祐一
	沿線住民と共存した落ち葉清掃の工夫	関東地方整備局 相武国道事務所 管理第二課	穂積 秀夫
	加賀百万石の城下町金沢における自転車走行環境改善に向けた取り組み	北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 調査第二課	前田 和哉
	国道2号宮島口渋滞対策社会実験について	中国地方整備局 広島国道事務所 計画課	高市 康寿
	自転車道整備を契機とした歩道空間の再配分について	九州地方整備局 福岡国道事務所 交通対策課	藤井 節朗
10:10～10:30	グループディスカッション①		
10:30～10:40	休 憩		
10:40～11:30	個別発表②		
	景観及び海浜利用者に配慮した橋梁設計	内閣府 沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所 企画調整課	細野 衛
	マリニピア沖洲第2期事業におけるルイスハンミョウのミティゲーション	徳島県 県土整備部運輸総局 運輸政策課	大塚 弘之
	猪名川河川事務所における浸水モニター制度構築に向けた実証実験について	近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所 広域水管理・品質確保課	田村 友秀
	自治体や住民と共にすすめる新しい防災 ～水害に強い地域づくりに向けて～	中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 工務課	野村 三奈
	公募型伐採の取り組みと今後の河川管理の展望について	東北地方整備局 能代河川国道事務所 鷹巣出張所	松田 宏一
11:30～11:50	グループディスカッション②		

Ⅳ 指定課題（2日目）

時間	指定課題①	指定課題②	指定課題③
9:40～10:25	山地流域における流砂の把握と砂防設備による土砂移動制御の検証	情報化施工の普及促進に関する研究	官庁施設における顧客満足度調査結果の分析に関する調査研究
	河川局砂防部砂防計画課 課長補佐 判田 乾一 国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター砂防研究室 室長 小山内 信智	総合政策局建設施工企画課 企画専門官 小野寺 誠一	官庁営繕部整備課施設評価室 営繕技術専門官 高原 洋介
10:25～10:35	休 憩		
10:35～11:20	高波災害対策に関する研究	直轄国道の維持管理基準と地域の状況について	官庁施設のユニバーサルデザイン診断とデータベースの整備に関する調査研究
	河川局砂防部保全課海岸室 課長補佐 西澤 洋行 国土技術政策総合研究所 河川研究部海岸研究室 室長 諏訪 義雄	道路局国道・防災課道路保全企画室 課長補佐 信太 啓貴	官庁営繕部整備課 営繕技術専門官 伊藤 敦志
11:20～11:30	休 憩		
11:30～12:15	水災害の監視・予測の高度化に関する研究 ～体系的な予測精度向上の取り組みと情報提供技術の向上の取り組み～	工事における業務効率化の取り組み（工事書類の簡素化・ASP・電子納品・電子検査）	
	河川局河川計画課河川情報企画室 課長補佐 田中 克直 国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター水害研究室 室長 伊藤 弘之	大臣官房技術調査課 工事監視官 八木 裕人	

V ポスターセッション

NO	課 題 名	所 属	氏 名
1	北海道エコ・コンストラクション・イニシアティブの展開	北海道開発局 事業振興部 技術管理課	井内 彰宏
2	ライン型ロードヒーティングについて	東北地方整備局 東北技術事務所 技術課	石川 功
3	自転車の利用促進等を旨とした通行環境評価と整備方針の策定	北陸地方整備局 新潟国道事務所 交通対策課	工藤 恵介
4	中部地方整備局の建設ICT導入推進の取り組み	中部地方整備局 企画部 施工企画課	林 利行
5	大規模盛土の施工における盛土管理について	近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所	森本 聡
6	簡易模型製作について	内閣府 沖縄総合事務局 北部ダム事務所 開発調査課	砺山 公貴
7	港湾におけるLCAを用いた環境評価の事例	国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾施工システム課	前川 直紀
8	市街地火災総合対策支援ツールの開発と防災まちづくりでの活用	国土技術政策総合研究所 都市研究部 都市防災研究室	竹谷 修一
9	戦時中の米軍撮影空中写真と数値標高データの重ね合わせによる東南海地震津波被害の検証	国土地理院 地理地殻活動研究センター 地理情報解析研究室	中埜 貴元
10	場所情報コードの共通化	国土地理院 測地部 測地基準課	檜山 洋平
11	道路橋の地震損傷を早期に検知・復旧する技術	(独) 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター	堺 淳一
12	アスファルト舗装の疲労寿命予測手法に関する検討	(独) 土木研究所寒地土木研究所 寒地道路保全チーム	丸山 記美雄
13	建築物に作用する津波荷重のシミュレーション	(独) 建築研究所 構造研究グループ	奥田 泰雄
14	施工時の品質管理がコンクリート部材の品質に及ぼす影響	(独) 建築研究所 建築生産研究グループ	根本 かおり
15	既存木造建築物における木質部材の健全性診断法の開発	(独) 建築研究所 材料研究グループ	山口 修由
16	網チェーン式回収装置の開発 ～消波ブロック撤去工事及び海底落下物回収作業への活用～	(独) 港湾空港技術研究所 施工・制御技術部	平林 丈嗣

究開発助成成果発表があり、計77課題の発表が行われました(表 1)。

指定課題は、国土交通省が所管する住宅・社会資本整備に関する技術の重要な課題について本省が指定する2～3カ年にわたって実施される研究課題です。本省、試験研究機関が中心となっていくものであり、発表は主にパネルディスカッション形式で8課題が発表されました(写真 3)。

自由課題は、住宅・社会資本の整備に当たって、全国的に発表する価値のある研究テーマとして、安全・安心、くらし・活力、環境、イノベーシ



写真 3 指定課題：直轄国道の維持管理基準と地域の状況について

ョン、アカウントビリティの5部門について、地方整備局、北海道開発局、地方航空局、機構、地方公共団体等の技術者が行う個人発表です。各地方整備局等で実施された技術研究発表会から選出された59課題が発表されました(写真 4)。

建設技術研究開発助成成果発表は、建設技術研究開発助成制度(急速に変化する社会経済情勢に的確かつ早急に対応するため、建設分野の技術だけではなく、建設以外の他分野を含めた連携を進め、広範な学際領域における建設技術革新を促進



写真 4 アカウントビリティ

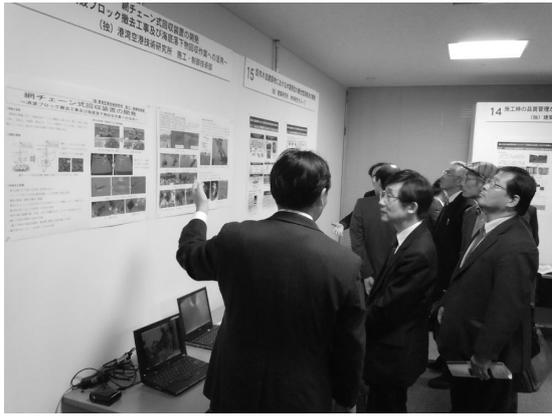


写真 5 ポスターセッション

し、それらの成果を公共事業等で活用することを目的に、大学の研究機関等の研究者等に研究開発費を補助する制度)で実施された研究開発課題のうち、平成21年度に終了した実用化および実用化の目途のある10課題が発表されました。

また、発表会場には、ポスターやパソコン等を使用したり、実物・模型展示で紹介・発表するポスターセッション展示を設営し、16課題が発表されました(写真 5)。

3 特別講演

初日の10月28日(木)には、「無駄のない社会づくり」と題して、東京大学先端科学技術研究センター教授の西成活裕氏による特別講演が行われ、約370名が参加されました。この講演の中で、無駄を考える前提条件(3P(目的purpose, 期間period, 立場position)の組織内の共有化とともに、短期的視野と長期的視野, 局所最適と全体最適, 利己と利他の三つのキーワードをうまく



写真 6 特別講演講師



写真 7 特別講演会場

考えることで無駄のない社会づくりに取り組むことが大事であるとの貴重なご示唆をいただきました(写真 6, 7)。

4 受賞課題一覧

自由課題5部門(安全・安心, 暮らし・活力, 環境, イノベーション, アカウンタビリティ部門)では、各部門から最優秀賞と優秀賞が選出されました。また、平成22年度からポスターセッ



写真 8 受賞者集合写真

表 2 平成22年度国土技術研究会 表彰者一覧

一般部門 安全・安心			
賞名	課題名	所属	発表者
最優秀賞	「地デジ」を活用した河川防災情報の提供について - 1300万人の防災システム -	九州地方整備局 河川部 水災害予報センター	馬場 太志
優秀賞	空輸対応型油圧ショベルの検討	東北地方整備局 東北技術事務所 施工調査課	安斎 裕幸
優秀賞	河川堤防点検における新たな評価指標	関東地方整備局 河川部 河川計画課	大内 香織
一般部門 くらし・活力			
賞名	課題名	所属	発表者
最優秀賞	国道16号川越市新宿町3丁目交差点における地域と連携した整備手法	関東地方整備局 大宮国道事務所 計画課	稲垣 剛史
優秀賞	サイクリングによる地域活性化への取り組み ～国営公園が地域に対してできること～	関東地方整備局 国営アルプスあづみの公園事務所 調査・品質確保課	下出 大介
優秀賞	ダム水没地舗装版有効活用に関する実行可能性調査について	東北地方整備局 胆沢ダム工事事務所 工務課	山内 純一
一般部門 環境			
賞名	課題名	所属	発表者
最優秀賞	千歳道路事務所における環境配慮への取り組み - 道路工事におけるオオタカへの配慮について -	北海道開発局 網走開発建設部 北見道路事務所 計画課	本田 卓己
優秀賞	既存建築ストック再生・活用のための構造技術	(独)建築研究所 構造研究グループ	福山 洋
優秀賞	大山ダムにおけるアカササゲ(環境省版レッドリスト絶滅危惧IA類)の保全対策の取り組み	(独)水資源機構 大山ダム建設所 環境課	村田 裕
イノベーション①部門			
賞名	課題名	所属	発表者
最優秀賞	鋼床版き裂の超音波探傷法	(独)土木研究所 構造物メンテナンス研究センター	高橋 実
優秀賞	表面含浸工法による既設コンクリート構造物の鉄筋腐食抑制効果の基礎的評価	(独)土木研究所 寒地土木研究所 耐寒材料チーム	遠藤 裕丈
優秀賞	美ら海の創造 ～港湾整備におけるサンゴの保全・再生～	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 港湾計画課	土田 真也
イノベーション②部門			
賞名	課題名	所属	発表者
最優秀賞	干渉SARを活用した効率的な地盤沈下監視の実施へ向けた取り組み	国土地理院 測地部宇宙測地課	鈴木 啓
優秀賞	交通円滑化対策のためのプローブデータの分析方法に関する研究	国土技術政策総合研究所 道路研究部 道路研究室	橋本 浩良
優秀賞	河川管理施設等構造令の大臣特認制度を活用した堰の改築について	九州地方整備局 遠賀川河川事務所 調査課	清本 克章
アカウントビリティ部門			
賞名	課題名	所属	発表者
最優秀賞	猪名川河川事務所における浸水モニター制度構築に向けた実証実験について	近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所 広域水管理・品質確保課	田村 友秀
優秀賞	マリンピア沖洲第2期事業におけるルイスハンミョウのミティゲーション	徳島県 県土整備部運輸総局 運輸政策課	大塚 弘之
優秀賞	国道2号宮島口渋滞対策社会実験について	中国地方整備局 広島国道事務所 計画課	高市 康寿
ポスターセッション部門			
賞名	課題名	所属	発表者
優秀賞	市街地火災総合対策支援ツールの開発と防災まちづくりでの活用	国土技術政策総合研究所 都市研究部 都市防災研究室	竹谷 修一
優秀賞	簡易模型製作について	内閣府 沖縄総合事務局 北部ダム事務所 開発調査課	砺山 公貴
優秀賞	網チェーン式回収装置の開発 ～消波ブロック撤去工事及び海底落下物回収作業への活用～	(独)港湾空港技術研究所 施工・制御技術部	平林 丈嗣

ン部門でも優秀賞を設けました。受賞した各課題は技術面等で、今後の国土交通行政の推進に資するものとして高く評価されたものであり、各受賞課題は一覧のとおりです。

本研究会の締めくくりとして、甲村謙友技監からは、この時代の変革期においては、技術者の資質が試され、一層の技術研鑽が必要である旨、伝えられました(表 2, 写真 8)。

5 おわりに

今回、本研究会の開催にあたり、参加者に対し

アンケートを実施し、164件のご意見をいただきました。この結果も踏まえ、次回の研究会のさらなる改善を図って参りたいと考えています(図 1)。

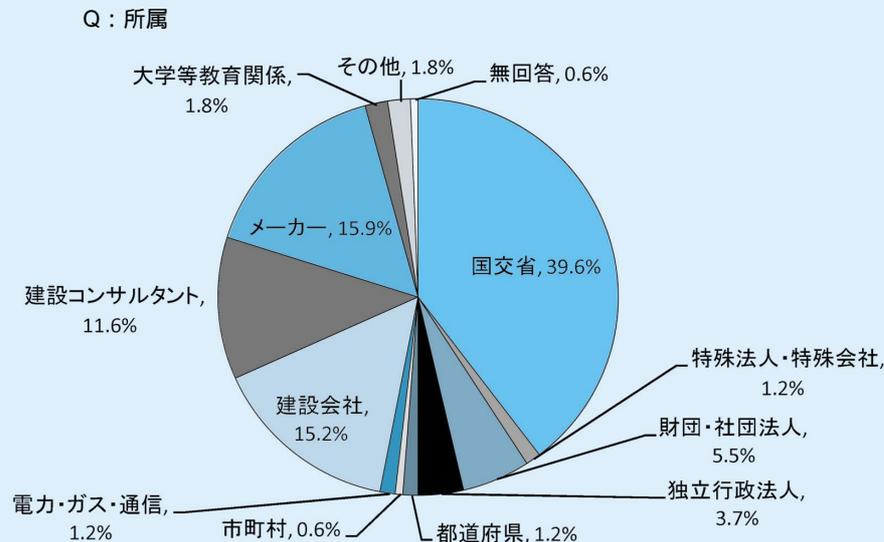
今後、本研究会で得られた知見を各現場において積極的に活用すること等により、国民の暮らしに貢献できる社会資本整備について、より一層努力していくことが重要だと考えています。

なお、国土技術研究会については、国土交通省のホームページにおいても紹介しております。

<http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/index.html>

国土技術研究会

検索



Q: 全体として、今回の国土技術研究会は、有意義なものでしたか

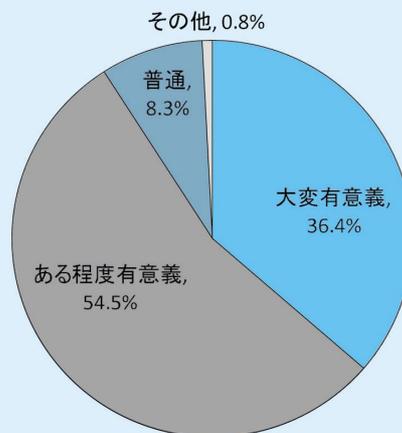


図 1 アンケート集計結果(抜粋)